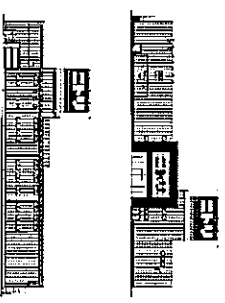


CASBEE®-建築(新築)

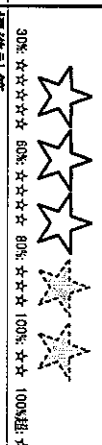
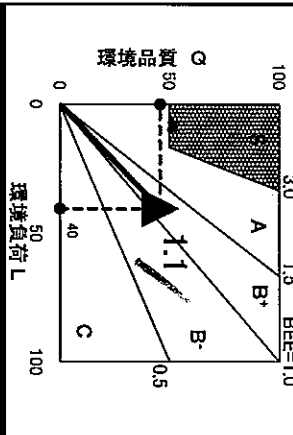
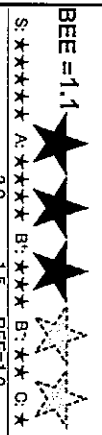
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)版、CASBEE-建築(新築)版(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニトリ花園インターネット	階数	地上2階
建設地	埼玉県梁谷市荒川字鍛冶ヶ谷戸355	構造	S造
用途地域	無指定、指定無し	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,650時間/年(法定値)
建物用途	物販店	評価の段階	要施設設計段階評価
竣工年	2020年1月	評価の実施日	2019年4月1日
敷地面積	4,298㎡	作成者	山川 雄一
建築面積	2,213㎡	確認日	2019年4月3日
延床面積	4,223㎡	確認者	小笠原 英規



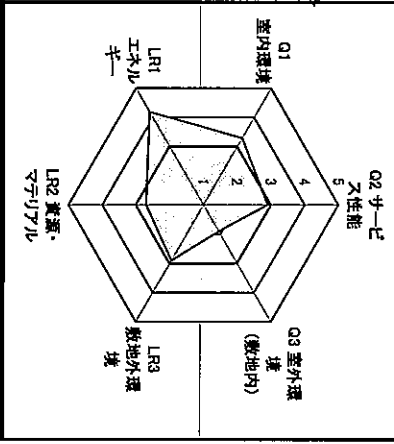
2-1 建築物の環境効率(BE)と省エネルギー(CO2)と省エネルギー(CO2)と省エネルギー(CO2)



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べた省エネルギー(CO2)排出量の目安を示したものです。

138 (kg-CO2/年・㎡)
184 (kg-CO2/年・㎡)

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響率)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質		Q0のスコア = 2.8	
Q1 室内環境		Q2 サービ	
Q1のスコア = 3.3	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 1.9	Q3のスコア = 1.9
1 音環境	1 操作性	1 生物環境	1 地球性
2 26	2 2.6	2 1.0	2 1.0
3 4.0	3 3.0	3 3.0	3 3.0
4 4.0	4 3.4	4 3.0	4 3.0
5 4.0	5 3.4	5 3.0	5 3.0

LR 環境負荷低減性		LR0のスコア = 3.3	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
LR1のスコア = 4.2	LR2のスコア = 2.7	LR3のスコア = 2.9	LR3のスコア = 2.9
1 建物外皮の	1 水資源	1 地球温暖化	1 地球温暖化
2 自然エネルギー	2 非再生材料の	2 地球環境	2 地球環境
3 27	3 汚染物質	3 2.9	3 2.9
4 4.0	4 2.0	4 2.9	4 2.9
5 4.0	5 2.0	5 2.9	5 2.9

3 設計上の配慮事項

3 設計上の配慮事項		その他	
Q1 室内環境		Q2 サービ	
Q1のスコア = 4.2	Q2のスコア = 2.7	Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 2.9
1 騒音発生源は地上に設置せず、2階ROOFに設置し、周辺への配慮を行っています。	1 赤井天井高を、1階は3.99m・2階は3.50mとし内部空間に余裕を持たせています。	1 可能なら緑地を設ける様になっています。	1 可能なら緑地を設ける様になっています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR3のスコア = 2.9
省エネルギー法に基づいています。	衛生器具は節水型を使用し、内部仕上材や接着剤、塗装はF☆☆☆☆を使用しています。	1 経絡車や駐車場は周辺の道間に渋滞を発生させない様、適切な台数やスペースを設けています。	1 経絡車や駐車場は周辺の道間に渋滞を発生させない様、適切な台数やスペースを設けています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)
 ■ 「ライフサイクルCO2」は、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)
 ■評価ソフト: 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境										3.3
1 音環境						2.6	0.15			2.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						3.0	0.40			
2 開口部遮音性能						3.0	1.00			
2 界壁遮音性能										2.7
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						1.0	0.20			
2 温熱環境										2.7
2.1 室温制御						3.3	0.50			
1 室温						3.0	0.50			
2 外皮性能						3.0	0.17			
3 ゾーン別制御性						4.0	0.33			4.0
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						3.0	0.30			
3 光・視環境										
3.1 星光利用						4.0	0.25			4.0
1 星光率						3.0	0.50			
2 方位別開口										
3 星光利用設備						3.0	1.00			
3.2 ゼリア対策										4.0
1 星光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御						5.0	0.50			
4 空気質環境										4.0
4.1 発生源対策						4.0	0.25			
1 化学汚染物質						5.0	0.50			
5.0 1.00						5.0	1.00			
4.2 換気						3.0	0.30			2.6
1 換気量						3.0	0.50			
2 自然換気性能						3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50			
4.3 運用管理						3.0	0.20			2.9
1 CO ₂ の監視						1.0	0.50			
2 喫煙の制御						5.0	0.50			
建物内には喫煙スペースを設けない										
Q2 省エネルギー性能										2.9
1 機能性										2.6
1.1 機能性・使いやすさ						2.6	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	0.40			
2 高度情報通信設備対応						3.0	-			
3 ハリプロ計画						3.0	1.00			2.9
1.2 心理性・快適性						2.3	0.30			
1 広さ感・景観						4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			3.0
1.3 維持管理						2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性										3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.30			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.50			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.80			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.20			2.6
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.30			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			2.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.2	0.20			
1 空調・換気設備						5.0	0.20			2.0
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

耐震対策を行い、デマンド制御を行っている

光熱天井高さは1F3.89m・2F3.50mとしている

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	階高は1F5.00m・2F4.30mとしている	3.4	0.30	-	3.4	
		2 空間の形状・自由さ	壁長之比率 0.098	4.0	0.60	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	1 床面積		5.0	0.40	-	-	
		2 床面積		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
			3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
			4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
			5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
			6 バックアップシステムの確保		3.0	0.20	-	-
			7 設備の点検・保守体制		3.0	0.20	-	-
③3 居室が環境(敷地内)				0.30	0	1.9		
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0		
3 地域性・アミノアミへの配慮			1.5	0.30	-	1.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温暖環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性						3.3		
④4 建築物の環境負荷低減性				0.40	0	4.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制		熱損失の低減を行い使用エネルギーを削減させる	5.0	0.20	-	5.0		
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	3.0		
3 設備システムの高効率化		BEI[BEIn] = 0.72	4.6	0.50	-	4.6		
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0		
集合住宅以外の評価		4.1 エネタリッジ	3.0	1.00	-	-		
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-		
		集合住宅の評価	3.0	0.50	-	-		
		4.1 エネタリッジ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-		
④2 資源(水)の節約			0.30	0	2.7			
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0		
1.1 節水			3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.70	-	-		
2.1 材料使用量の削減			2.5	0.60	-	2.5		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.11	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-		
3.1 消火剤			-	-	-	-		
3.2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-		
3.3 冷媒			3.0	1.00	-	-		
④3 敷地外環境			0.30	0	2.9			
1 地球温暖化への配慮		ライツサイクルCO2排出率77%	3.9	0.33	-	3.9		
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	2.5		
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温暖環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		周辺道路からの乗入を複数設計で減額抑制を行っている	2.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	2.4		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1 騒音			3.0	0.33	-	-		
2 振動			3.0	0.33	-	-		
3 悪臭			3.0	0.33	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-		
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制			3.0	0.30	-	-		
3 日照阻害の抑制			3.0	0.20	-	-		
3.3 光害の抑制			3.0	0.70	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明の5%以内に当たる光への対策			3.0	0.30	-	-		
2 屋外の照明外型による屋外光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)ニトリ花園インター店	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア						
3.9	+	1.6	=	5.5		
重点項目の各スコアの合計点						
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	  	非常によい 6.8以上	  	すばらしい 8.0以上	   

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.9

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
駐輪場や駐車場は周辺の道路に渋滞を発生させない様、適切な台数やスペースを設けております。			

(2) CASBEE

スコア平均 1.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

可能な限り緑地を設ける様になっています。

: 入力欄